

民生委員制度創設 100 周年記念事業

全県モニター調査



この調査は兵庫県内の「民生委員・児童委員（主任児童委員含む）」の方を対象としたものです。



兵庫県民生委員児童委員連合会

神戸市民生委員児童委員協議会

以下の問いにご回答ください。なお、調査結果は統計的に処理され、個人の回答が特定されることはありませんので、正直なお気持ちをお答えいただきますようお願いいたします。

※なお、この調査票の中で「民生委員・児童委員」と表記されているものには、すべて「主任児童委員」を含みます。

まずは、あなたご自身のことについて教えてください。

問1. 回答日現在の、あなたの年齢と性別を教えてください。

年齢()歳 性別(男・女)

問2. 現在、あなたのお住まいの市町名(神戸市の場合は区名まで)をお答えください。

兵庫県()市・町、(神戸市)区)

問3. あなたは、現在の市・町に何年くらいお住まいですか。具体的な年数をご記入ください(転出・転入などをしたことがある方は、合計の年数をご記入ください)。

()年

問4. 現在、あなたは民生委員・児童委員を何年くらい務めていますか。具体的な年数をご記入ください(主任児童委員歴も含みます)。なお、途中で委員の職を離れたことがある方は、委員を務めていた年数を合計してお答えください。

()年

問5. あなたは以下の地震や台風・豪雨の災害を経験しましたか。それぞれの災害について、最もあてはまるものに○をつけてください。

	家屋に被害 があった	自宅を離れて 避難(生活)をした	経験したが特に 被害はなかった	経験 しなかった
・1995年(平成7年) 阪神・淡路大震災	1	2	3	4
・2000年(平成12年) 鳥取県西部地震	1	2	3	4
・2004年(平成16年) 台風23・24号	1	2	3	4
・2009年(平成21年) 台風9号	1	2	3	4
・2013年(平成25年) 淡路島付近を震源とする 地震	1	2	3	4
・2014年(平成26年) 8月豪雨	1	2	3	4

問 6. あなたは以下の地震や台風・豪雨の時に、民生委員・児童委員としてご活動をされましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1. 1995年(平成7年)阪神・淡路大震災 | 4. 2009年(平成21年)台風9号 |
| 2. 2000年(平成12年)鳥取県西部地震 | 5. 2013年(平成25年)淡路島付近を震源とする地震 |
| 3. 2004年(平成16年)台風23・24号 | 6. 2014年(平成26年)8月豪雨 |

問 7. あなたは災害が起きた被災地（県内外を問わず）でボランティアとして活動をした経験がありますか。下記について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 民児協のつながりで、被災地でボランティア活動をしたことがある。
2. 自治会・婦人会など地域組織のつながりで、被災地でボランティア活動をしたことがある。
3. 職場や仕事のつながりで、被災地でボランティア活動をしたことがある。
4. それ以外の組織(NPO(非営利組織)など)のつながりで、被災地でボランティア活動をしたことがある。
5. 個人的な立場で、被災地でボランティア活動をしたことがある
6. 被災地でボランティア活動をしたことはない。

問 8. (問7で「ボランティアとして活動したことがある」方にお尋ねします)あなたは下記のような活動をしたことがありますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 避難所での相談支援・生活支援をしたことがある。
2. 仮設住宅での相談支援・生活支援をしたことがある。
3. 炊き出しのボランティアをしたことがある。
4. 物資の仕分け・配給のボランティアをしたことがある。
5. 子どもたちや親子に対してのボランティアをしたことがある。
6. 高齢者に対してのボランティアをしたことがある。
7. 被災地の家屋等の後かたづけのボランティアをしたことがある。
8. その他の災害ボランティアをしたことがある。

問 9. あなたが、ふだん民生委員・児童委員として活動するときに、どのようなお気持ちで活動していますか。下記から最もあてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

1. 市や町より推薦を受け、厚生労働大臣から委嘱を受けた非常勤の特別職の地方公務員という気持ちで活動をしている。
2. 自治会などと同じような地域活動の役職の一つという気持ちで活動している。
3. 市や町などから頼まれた者という気持ちで活動している。
4. 組織や地域というよりは自分自身の使命感や役割のような気持ちで活動している。
5. 特別な役割意識や気持ちはない。

問 10. あなたが現在住んでいる地域は、どんな様子ですか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

1. 地域のつきあいがあまりなく、それぞれで生活している。
2. 地域のつきあいはあまりないが、地域の世話役の人たちの活動が目にはいる。
3. 地域のつきあいは少しあり、住民がお互いに挨拶をかわすこともある。
4. 地域のつきあいはかなりあり、何かのときには多くの人に参加する。

災害時の民生委員・児童委員としての活動について教えてください。

問 11. あなたは民生委員・児童委員として、災害時にどのような役割・対応が求められているかご存知ですか。最もあてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

1. 災害時の役割・対応について、計画・マニュアルや防災訓練などから具体的に把握している。
2. 計画・マニュアルなどの記述はよくわからないが地域の防災訓練などを通して把握している。
3. 日頃の活動や民生委員同士の話の中で、何となくやるべきことくらいは理解している。
4. 何をするのかよくわかっていない。
5. そもそも災害時に行うような役割・対応は特に求められていない。

問 12. 災害時の民生委員・児童委員の活動について、下記のような意見がありますが、あなたはどのように思われますか。最もあてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

1. 災害時にも積極的に活動をすべきである。
2. 災害時にも活動を求められることは、やむをえない。
3. 災害時にも活動を求められることは、できればやめてほしい。
4. 災害時にも活動を求められることは、やめてほしい。

問 13. 災害時の民生委員・児童委員の活動について、下記のような意見がありますが、あなたはどのように思われますか。最もあてはまるもの1つを選んで○をつけてください。

1. 災害時にも活動を求められることには、負担感がかなり強い。
2. 災害時にも活動を求められることには、負担感がそこそこ強い。
3. 災害時にも活動を求められることには、あまり負担感を感じない。
4. 災害時にも活動を求められることには、ほとんど負担感を感じない。

問 14. 人的被害・家屋被害が出るような大規模な災害が発生した場合、あなたは民生委員・児童委員としてどのような活動をすべきだと考えられますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. テレビ・ラジオ等での災害・被害の情報収集
2. 自治会や民児協など地域組織の役員との電話等での情報交換
3. 地域の災害対策本部への参集
4. 災害時要援護者への電話等での情報伝達
5. 地域の協力者と連携した災害時要援護者の安否確認
6. 消火
7. 建物などからの救出・救護
8. 災害時要援護者の避難支援
9. 避難所等での支援・運営活動
10. 避難先での要援護者への避難生活支援
11. 地域のパトロール
12. わからない
13. すべきことはない

問 15. 人的被害・家屋被害が出るような大規模な災害が発生した場合、あなたの地域の実態をふまえると、地域でどのような活動が実際に出来ると考えられますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. テレビ・ラジオ等での災害・被害の情報収集
2. 自治会や民児協など地域組織の役員との電話等での情報交換
3. 地域の災害対策本部への参集
4. 災害時要援護者への電話等での情報伝達
5. 地域の協力者と連携した災害時要援護者の安否確認
6. 消火
7. 建物などからの救出・救護
8. 災害時要援護者の避難支援
9. 避難所等での支援・運営活動
10. 避難先での要援護者への避難生活支援
11. 地域のパトロール
12. わからない
13. できることはない

問 16. 要援護者台帳・避難行動要支援者名簿（災害時要援護者台帳など）のような「災害時に支援が必要となる人たちの名簿」についてあなたの地域ではどのように保管されていますか。あなたがご存じの範囲で結構ですので、あてはまるものすべてに○をつけてください。

1. 市役所・町役場・社会福祉協議会に保管されている。
2. 公民館や集会所等の公共の建物に保管されている。
3. 自治会長等の地域役員の個人宅に保管されている。
4. 民生委員・児童委員の個人宅に保管されている。
5. 名簿があるのは知っているが、どこに保管されているのかわからない。
6. 名簿があること自体を知らない。

問 17. 災害時の民生委員・児童委員の活動について、下記のような意見がありますが、あなたはどのように思われますか。あなたの意見に近いものすべてに○をつけてください。

1. 「災害時に支援が必要となる人の名簿」を、日常の活動から使用したらよい（使用している）。
2. 「災害時に支援が必要となる人の名簿」は、日常の活動では使用するものではない（使用していない）。
3. 自治会・自主防災組織などと、地域で防災訓練を年1回以上行うべき（行っている）。
4. 「自助」の意識を高めることについて、住民と日頃から話し合うべき（話し合っている）。
5. 「地域での助け合い」の意識を高めることについて、住民と日頃から話し合うべき（話し合っている）。
6. 万が一の災害への備えとして、人と人とのつながりが大切だと考えている。

問 18. あなたは災害に備えた民生委員・児童委員の活動として、普段から、以下のような活動をしていますか。以下を読んで、それぞれについてあてはまる番号に○をつけてください。

	1 現在、活動・活用をしている	2 活動・活用をしたことがある	3 知識として知っている	4 どのようなものかわからない
--	--------------------	--------------------	-----------------	--------------------

① 名前等の携帯カード（あんしんカード等）の活用	1	2	3	4
② 安否確認の協力者（協力委員やLSA(生活支援員)）の活用	1	2	3	4
③ フェニックス共済の加入促進	1	2	3	4
④ 地域防災訓練への参加	1	2	3	4
⑤ 要援護者宅を住宅地図等で把握するためのマップ作り	1	2	3	4
⑥ 要援護者宅の日頃からの訪問・見守り	1	2	3	4
⑦ 近隣住民等から要援護者支援にあたる避難支援者の確保	1	2	3	4
⑧ 地域における要援護者の支援ネットワークの構築	1	2	3	4
⑨ 地域で指定された避難所の位置確認および訓練	1	2	3	4
⑩ 地域の福祉避難所の位置確認および訓練	1	2	3	4

問 19. あなたは民生委員・児童委員として活動するなかで、災害のことに限らず、ご苦労されていることや問題だと思っていることはありますか。どのようなことでも構いませんので、お書きください。

例：活動するなかで、苦労していること・・・
問題だと思っていること・・・



ありがとうございました

質問はこれで終わりです。ありがとうございました。

